



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和4年度学校だより
No.2 4月第2号
令和4年4月11日(月)

今を変えれば未来が変わる

前期始業式無事終了!!

令和4年度初日の4月6日(水)、前期始業式を実施しました。今年度からひたちなか市の小中学校は、全て2学期制となり、呼称も「前期」と「後期」で統一されています。

さて、約2週間ぶりに登校してきた児童は、8時30分過ぎには校庭に移動し、学年、学級ごとに整列しました。

その光景を見て、懐かしいものが甦ってきました。昔は、全校朝会と言えば、必ず運動場で行ったものです。そして、先生が朝礼台に立ち、話をする。それを立ったまま話を聞く。そんなひと昔前の、古き(?)よき時代の風景を思い出しました。

今日、実際に朝礼台に立ってみると、2~6年生の約650人が横長に整列していますが、挨拶をして返ってくる挨拶の声に、時差のあることに気づきました。近くの声と遠くの声が、1・2・3ぐらいのタイミングで、ずれて3拍子で聞こえるのです。とても新鮮な感じがしました。もし今日雨が降れば、放送での始業式となりましたが、お天気に恵まれ、昨日よりも花ひらいた桜を遠くに望みながら、お天道様の下で始業式を実施できたことに感謝しています。

炎天下や寒い冬に、外で集会や式を行うのははばかれるかもしれませんが、できることならできるだけ校庭でやりたいものだと感じた次第です。

4月6日(水) 始業式の 担任発表の様子



始業式の一場面、担任発表時の瞬間です。名前を呼ばれた先生は手を挙げて、子どもたちと新年度最初の対面をしていました。

これまた、拍手と歓声と、温かい雰囲気の中での新しい担任の先生との出会いとなりました。

先生と児童と、みんなでこれからの一年間で、ステキな学級を創りあげてください。



校庭の桜は、
前日よりも元気で。
4月6日(水) 撮影



・裏面に続きます

新任式の様子から

今年度赴任した教職員は、13人です。一人ひとりマイクを手に持って、自己紹介をしました。



さて、新任式の後、続いて転入生の紹介です。全部で5名のお友達が、前渡小の一員となりました。



5年生が1人、4年生が2人、2年生が2人です。まだ慣れない環境で緊張していると思うので、どんどん声をかけてあげてください。よろしくお願いします。



前小㊤通信

生活の柱 : 時間と空間、それから仲間、三つの『間(あいだ)』を大切に
Key Word : 間が大事 笑顔さわやか ワクワクと 宝は仲間 理想に向かって

前のページに続いての、始業式に関する記事が中心です。前渡小の学校だより、『前小だより』が2ページになるときは、裏面はそのタイトルを変えて、『前小㊤通信』として発行します。

始業式の冒頭は、新年の抱負の発表です。まず3年生の齋藤さんです。今年度は、持久走大会とリコーダーをしっかりとやりたいと、目標を具体的に決めて発表しました。



続いて、6年生の小池さんです。三つの力を入れたいこととして、吹奏楽部の練習でトランペットの音をきれいにしたい、下級生のお手本になりたい、小学校最後の修学旅行と運動会で思い出になることをたくさんしたいと自分の気持ちをしっかりと発表しました。

二人とも約650人を前に、堂々とした態度で、立派に発表ができました。

多くの小学生が、手をふって帰っていきました。



新年度初日の下校の様子から



バス通学の皆さんは、快く写真撮影に応じて、自主的にポーズをとってくれました!!

とてもカラフルなバスに乗車します。



前小生は、遠路はるばると歩く子もいます。6年間継続すると、足腰はみっちり鍛えられ、一生の財産となることでしょう。



下校前の校庭の一場面



班長さん?を先頭に、1列で下校します。

